

令和元年第9回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和元年5月22日午後1時

場所

高砂市役所南庁舎4階研修室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、布施委員

欠席者

神尾委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、横山学校教育室学校教育課長
北野教育推進室教育総務課長

本日の会議に付した事件

報告事項

- 1 市内X中学校における個人調査票に係る事案について

議 事 報告事項 1 市内X中学校における個人調査票に係る事案について

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 教育長 事案の概要の説明は終わりました。何かご質問、ご意見がありましたらお願いします。
- 委員A 昨年か一昨年に別の学校で紛失がありました、同じような内容ですか。
- 事務局 29年に発生しました事案は、指導要録の抄本で、小学校6年生が卒業時に、小学校で作成したものを中学校に送る、そういった書類でした。今回は、4月の学期初めに、子供たちに持って帰らせ、保護者に記入していただき、学校で保管します。家庭訪問時にはそれを参考に家庭とのやりとりをしたり指導に役立てたりという個人調査票というものです。
- 委員A 分類するなら、個人情報に相当するもので、非常に厳格に管理しなければいけないものだというところでよろしいですか。
- 教育長 そうです。
- 委員A 前回のものは、金庫に管理して、その施錠の管理も含めて、ルールが決まっていたかと思うのですが、今回も同じような運用でしたか。
- 事務局 今回のものも鍵をかけて保管するということは同じなのですが、家庭訪問や緊急連絡に使用するので、使用頻度が高く、金庫に保管するというところまではしていません。しかし、施錠ができる場所に保管するという運用をしています。
- 委員A ルール上は、施錠ができる場所という、限定している場所ではなく、鍵がかかる場所ならどこでもよかったですか。
- 事務局 日常使うものですので、手にとりやすい、鍵がかかる場所。特に金庫という指定はしてはおりません。
- 委員A 机の引き出しの中とか、そういうことですか。
- 事務局 はい。
- 教育長 休憩中にこういう場合は警察にも連絡して、盗難という捉え方ができるのではないかとご質問がありました。
- 事務局 校長と相談しまして、今現在、警察に相談に行き、被害届を出すという方向で、進んでいるところです。
- 委員B 防犯カメラというのはついてないのですか。学校に1カ所、どこかについていますよね。この時間帯、いつごろ紛失したかにもよるのですけれども、もし部外者が入ったのなら、カメラを見て何かということはないのでしょうか。
- 事務局 防犯カメラはついていますが、職員室のほうに防犯カメラがついておらず、確認のしようがないという状況です。
- 教育長 休憩中に、外からの危険に対応するために防犯カメラも検討したらどうかとい

うご意見をいただきました。個人情報ですし、外部に知られたくないことも書いているような資料ですので、先生方が個人情報管理の意識を高めていただくということを、再度徹底していくようなことのご指摘もいただきました。また、報告につきましては、確実にないかを捜して、やっぱり見当たらない場合に報告しようと思ったということですが、第一報としては、今捜しているけれども、まだ見つかってないという一報を入れて、出てくれば、「ああ言ったけど、出てきました」で、ほっとした形で終わりますし、なくなった場合の対応として、またさらに新しい情報等が入ったときに、書類等でなくても、電話一本でもいいから、まず一報を入れていただくことが必要じゃないかというご指摘もいただきました。確かにおっしゃるとおりだと思います。被害届を出していますので、今後の捜査は警察に任せるということになります。

管理の面であるとか報告のことであるとか、今後の対応につきましても、今日16時から臨時の園長校長会で伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

意識を高めていく中で、相互指摘という風土をつくるということもやっぱり大切だと思っております。特に先輩の先生がそういった管理の面で不十分な場合を見つけた場合に声をかけていってお互いに注意をしていく、1つの学校が組織としてみんなで気をつけて管理をしていきたいと思いますという意識を高めることができれば、ずさんな形の管理は避けられたのではないかと思いますので、そういうことも、教育委員会から学校へ指導をしていきたいと思っております。

- 委員C その相互指摘の問題、お互いの管理のし合いということもいいけれども、今回をきっかけに、毎日教頭先生等が確認することを続けていかないと。終業の前には必ず書類の管理、点検を徹底してほしいと思います。
- 教育長 今、委員Cさんが言われたことに対して何かありますか。気をつけるだけじゃなくて、そういうルールであるとかシステムをきちっとつくって、毎日きちっと確認をする、または退勤時に点検をするということなのですが。
- 事務局 どんな仕組みを作るのかというのを考えながら、やっていきたいと思ひます。
- 委員A 帰る前というのは、やることが決まっているので、これも含めてなんですけれども、チェックリストをつくってチェック、一つ一つ声をかけながらやっていくのです。全部終わったということで確認してから、これをマストの仕事にしているのです。間違いがないのです。だから、そういうルールづくりを、文書化するということもありますし、それをどうやって確認させるか。チェックしているかどうかをまた第三者が見てもチェックできているということで、歯止めをかけないとうまくいかないのです。システムをまず構築するべきじゃないかと思ひます。ただ「やります。はい、考えます。意識を持ちます」では、意識は続かない。実際動かせるために、仕組みづくりが必要。実践的にこういうシステ

ムをつくってチェックしていきなさいと指導したらどうでしょうか。

○事務局

ご指摘ありがとうございます。

○教育長

ほかに何かご意見ございますか。貴重なご意見をたくさんいただきましたので、今日の校長会でお伝えするとともに、教育委員会としましても、今いただいたご意見を受けて、それを具体的に実践していくようなことをスピード感を持って対応していきますので、よろしくお願いします。

まずは、職員室に入って、先生方の机の上がほんとうに飛行場の滑走路みたいにきれいな状態であること、仕事をしているときはいいのですけれども、帰るときにはまたきれいに。書類等は引き出しの中に入れるという形が一番望ましいと思います。職員室もすぐには鍵もかけて対応はしている状況ですけれども、少しの隙にこういう事になってしまいますので、この機会に徹底します。前回、抄本の紛失のときの教訓が生かされてなくて、また起こってしまったということもありますので、具体的にどうするのかということを考えていくことが求められています。心構えとかそのようなレベルでは不十分ですので、やっていきたいと思います。

○委員C

今後の報告に関しての問題ですが、いろんな問題が発生したときの報告の仕方としては、当然、迅速にしてもらおうということと、今言われた、紛失したかもしれない、そういう状態、あるいは暴力事案にせよ何にせよ、事案として発生していないけれども、その事前の対応として、俗に言うヒヤリ・ハット、そういうものでも報告事項として教育委員会に報告していただきたい。紛失して、数時間以内に捜してあったのだったらそれは構わないけれども、それはヒヤリ・ハットで、どこに置き忘れたという形があるということは、やはり管理の仕方が徹底していないからで、こういう事案につながりますので、その事前防止のためにそういうわずかなことだけでも報告を上げてくださいます。そういうのをきちんとチェックすることが、事前に物事の対応、防いでいくことにつながるから、表みたいな形で書いて報告を上げるということで徹底していただきたいなと思います。

○委員A

ヒヤリ・ハットって非常に大事ですよ。ヒヤリ・ハットがあつたら、次回に起こさないようにどうすればいいのかというのを考えて対策を組む。そのヒヤリ・ハットが起こったことで、対策も含めて、横展開というのを次にやっていく。例えば学校だったら、宝殿中学校で起こりました。じゃ、鹿島はどうですかと全部で同じようなことが多分起こるだろうと回していきます。対策はこういう対策をやっていきましょう、それが有効な対策だと、それをどんどん展開していく。これがヒヤリ・ハットの進化先だと思います。また、一般的に、ヒヤリ・ハットがあれば誰でもすぐ読めるように簡単に書きます。こういうのがありました、こういうのがありましたと。小さなところから潰して行って、大きな災害だったり大きな問題を起こさないようにするという。それを教育の

現場でも生かせるようにして、ヒヤリ・ハット提案みたいな感じで作せるようにしたらいいかと思いますね。

- 委員C 事故が発生するに当たってのルールがあって、ルールの名前を忘れてしまったけれども、ヒヤリ・ハットが幾つかあったら、そのうち1回は大きな事故につながると。それを防いでいくために、そのヒヤリ・ハットをいかに潰して行って、事故の前後策を講じて行って、事案を少なくする。そうすると本来の大きな事故が発生しないという、そういう事故発生防止のためのルールがあるので、やっていかなければいけないと思います。
- 委員A K Y T活動と言います、危険予知活動。今回、たまたま「見つかりました」で終わったら、机の上に置きっ放しだったのがどれだけ問題視されて、それが全員に意識させられたかと。「あった、よかった」だったら、おそらく同じことを行う人がいっぱいいると思うので、今回の事案はほんとうに、発生して、逆に言うと意識を高められるということになるので、あとはそれを生かすしかないですよ。
- 委員B 今回、残念なことがとても多かったのですがけれども、ただ、私は1つだけ、20日に担任の先生がないということに気がつかれて、捜してから、その日の午後1時には校長先生に報告しているというのは、報告できる校長先生だったんだなとうれしく思いました。言いにくかったら、焦りから隠そうとするということで、もっと先に報告が行くという可能性もあったかと思うので、ここで校長先生に数時間で言えたということはよかったと思います。これは今後にも生かしていただきたいなと思いました。
- 事務局 教育委員会と校長先生もそうですし、校長先生と先生の関係も、風通しのいい相談できやすい関係をつくっていかうと思います。ありがとうございます。
- 委員C 数時間で報告したというのはそれでいいのですが、次の問題は、学校から教育委員会への報告も迅速にやってほしい。中だけで処理しようという感じがあっては、今後のいろんな事故の防止に繋がらないので、そこも報告をきちんと迅速にやってもらわないとだめかなと思います。学校単独で解決しようと思わないようにしないといけないと思います。
- 事務局 何か物事が起こったら、できるだけ早く、早急に報告するように言っていきたいと思います。
- 教育長 学校だけで解決できることもあるかもしれないけれども、やっぱり教育委員会と一体となって解決をするということが求められていると思うので、学校だけで解決するという意識よりも、報告をして、相談しながら一緒に適切に解決していくという姿勢を。委員Cさんがおっしゃった教員と校長の関係のお話で、よかったというお言葉もいただきましたけれども、委員Aさんからは、そういう関係を学校と教育委員会ができるように、もっと早く一報を入れると。先ほどもそういう意見をいただきました。しっかりとそういう関係をつくり上げて

いくということをお願いします。

○事務局 はい。

○教育長 状況に変化があった場合は、ご連絡はさせていただきます。今のところは、今言いましたように、今も捜している。それから、警察に被害届を提出するということですね。今日は相談に行っているのですけれども、アドバイスも聞いて、被害届を提出する方向で、今動いています。それから、今日、当該のクラスの生徒さんのご家庭を訪問して、保護者さんに説明と謝罪をします。それから、保護者説明会を明日開催する予定です。生徒は今日、明日と中間テストをしていますので、その時期が終わって、明後日に、生徒に対しても説明をしっかりとしていきたいということです。今日は急にお集まりいただきまして、ありがとうございました。これで教育委員会を閉会いたします。

令和元年5月22日 午後1時55分 教育長会議の閉会を宣告
